

# 東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002 東京都国立市東1-4-20-102

2014年11月号《No.5》

TEL 042-577-6181/FAX 042-577-5574

## 今月の聖句

愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない、礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない、不義を喜ばず真実を喜ぶ、総てを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。

ローマ人への手紙13章4節—7節

## 主題

国際会長	Isaac Palathinkal	「言葉より行動を」「今すぐやろう！」
アジア地区会長	岡野 泰和	「未来を始めよう、今すぐに」
		「ひとつのアジア、世界はひとつ」
東日本区理事	田中 博之	「誇りと喜びを持って」
あずさ部長	望月 勉	「スピードをもって前に進もう」
武蔵野多摩会長	宮内 友弥	「共に学びあい、活かされる社会を目指して」

## ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

### 五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. 世界的視野を持って国際親善をはかろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさたろう
1. 出席第一と奉仕第一とを旨としよう

## ワイズメンズクラブの目的

- 4 q 1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

10月出席率91% 在籍者11名 出席者10名 メネット1名 ゲスト5名とリーダー大勢 ニコニコ 15050円

## 秋晴れの運動会

山口 直樹

10月4日の土曜日に直撃台風の直前であったが、小学校の運動会をはしごした。それぞれ1時間ずつの見学であったが、暑さもほどほどで、絶好の運動会日和であった。各学校ともいっばいの保護者。まず、練習通りしっかりやろうと緊張気味の子どもたち、もっと緊張している先生たち。のびのびと張り切っている校長先生。

子どもたちが学校生活の中で成長してゆく姿を実感できる恰好の場面であると、様々なところで感じられた。上級生が走り回り協力する姿を呆然と見ながら、自分もその一員なんだと、またそうなるんだと実感している1年生。

最初は自分のことで精一杯、緊張の中で参加していた2年生が、後半から自分のチームの勝ち負けに一喜一憂し、勝った時の飛び上がって喜ぶ姿、途中での応援、運動会へ参加する喜びを体いっぱい表現する様子に、何か生きている人間の素晴らしさの原点を感じた。

一時期、順位をつけない。差をつけることが差別に通じる。など極端に走った風潮を耳にした徒競走でゴールには一緒に手をつないでゴールするなどのこともあったときいている。

しかし違いをしっかりと感じ、日常とはまた別な自分、そして友達の中に見つけ感じることの一場面を運動会で垣間見た。そして精いっぱいかわって成功したり失敗したりする中で、新しい喜びと満足感を感じている様子。楽しさの新しい定義を教えられた。

先生方のパフォーマンスの踊りがサプライズ(子供たちには秘密で猛練習)で始まった時。一瞬、静かになり、そしてまず心配そうなまなざしで見つめる子供たち。そのうち、担任や校長の一生懸命楽しく踊る姿に大歓声。最後は「アンコール」の大合唱。残念ながらアンコールに応える余裕は先生方には残っていなかったが、一緒に体いっぱい楽しんでくれている先生方から、皆何か感じた様子。

体を動かし、得意な子も不得意な子もそれぞれの場面で活躍し、勝つ喜び、失敗するくやしき、無念さ、でも皆手作りで成功させることから得られる喜びに酔いしれた一日であった。

6年後にあるオリンピックが、少しでも手作り感の喜びが得られるように質素に行われることも心の片隅でちょっと思った。

\*\*\*\*\*

**最後の最後までワイズを愛しワイズ生活を享受しいろいろな知恵を振りまいた太田 太ワイズ、元日本区理事(最後から二番目) 武蔵野多摩クラブが 10月26日早朝昇天されました。**

氏のことを語る人のイメージは千差万別、それは氏と対面した人は皆いつの間にか自分自身を見つめてしまうからではないでしょうか。

青年時代没頭した柔道の古傷からか首の後ろに難病発症から、頭の手術そして胃ろうを、もう一度口からの食事へ復帰と壮絶な闘病生活でした。最後の表情からメネットの献身がありありと読み取れました。宮内会長の言を借りれば凛々しい顔でした。

献花ではもう一度感謝の気持ちと賛美歌 298 番(ワイズソング)の繰り返しでお送りしました。武蔵野多摩クラブ同

\*\*\*\*\*

## 10月部長公式訪問・リーダー活動報告・八王子クラブとの合同例会のようす

日 時 10月22日18時45分 場 所 西東京センター

司 会 渡邊ワイズ 受付 野尻・松田ワイズ

ゲスト 望月あずさ部部长 望月喜代子メン 原 俊彦あずさ部書記・淑子メン(富士五胡クラブ)  
長津サンライズ会長 浅羽山手会長 永岡さん(Y福専) 富子氏(武蔵野リーダーOB) リーダー達大勢  
宮内会長の我々の万国旗にモンゴル国旗を加える報告と宣言で開会点鐘。

望月部長 私の仕事場は相談を受けても問題が発生しても自分で判断し瞬時に決めなければ成らない、救急車を呼べと言っても来るはずもない即断即決の生活を30年やってきました。あずさ部長の役目もそれで行きます。と決意の言葉が富士山八合目から響いた。

ユースリーダーになって1~2年生リーダー対象の東日本ユースボランティアリーダーズフォーラムに参加したキョウ 真黄乃さんとしゃしゃ大橋 麻亜紗さんの発表。

今回のテーマは今リーダーに求められているのとは何か。基調講演で1. 音源つまりメンバーを圧倒し喜ばせるエンターテインメント制。2. コミュニケーション能力、メンバーの緊張をいかほぐしてあげられるか。3、メンバーを観察し如何にメンバーに寄り添えるか。4、メンバーの目線で考える。5、メンバーの長所を見つける。などの問題提起があり幾つ

かのグループに分かれてディスカッションしました。求められているものといっても、凄く広いし、誰が求めて居るのか、メンバーなのか保護者なのか、それを話し合っても想像に過ぎない。今リーダーが大切にしているこう成なりたいとかこうありたいとか、リーダー自身が求めていることを考えることにしました。

私たちは弱者に自身を持たせる、自尊心を高める、安心感つまり愛情・関心・興味とよく言われるが、完璧なリーダーになるためのテクニックを学びに来たのではなく人間力をたかめるヒントを得に来たとしたら、それは友人・家族・社会からの経験からも得られ、その結果メンバーとの楽しい関係が成り立つ人間力、それが求められるものだと思います。

夏のキャンプ報告 ポンド池谷 悠太郎君とトリップ二田 未来さん

私は野球やサッカーよりもキャンプが大好きです。今回も五つのキャンプに参加しました、そして子供たちが楽しいと思うキャンプの姿を計画しマネジメントしました。学び感じた事〔継続することの大切さ。〕 成長している子供の姿に充実感で満たされている自分を感じました。キャンプの期間中に都の教員採用試験があり仲間達からも大丈夫かと言われていましたが見事失敗、次のステップを考えるときですが大好きな子供達、西東京センター、そして私をそのように育ててくれたYMCAにありがとうを言いこれからも関わってゆきたいです。

トリップ二田 未来さん

今夏の数回のキャンプで私にとって特に大きな収穫は知的障害者との3泊4日のキャンプで特に入念な下見などの準備をしました。現場では日に日に私の名前を読んでもくれる回数が増えた事、初めて出来たことに立ち会えたこと、普段の自分いつもの自分で居ることの大切さに気がついたことです。今はキャンプ中、リーダーだからちゃんとしなければとよそ行きだとすぐに読まれてしまいます。しっかりと自分の気持ちを伝えること、楽しむときと真剣（安全）なときのメリハリを付けることを学びました。〔ロングデイキャンプの収穫はロングデイで返す〕今、心の中で繰り返しています。

YMCA永岡 美咲さんのチェンジエージェントの話聞きながらこの革命が進む時、今日のような若者がエネルギー・原動力になると思った。

懇親会ではおじさんおばさん若者の混成グループがいくもでき話に花が咲いていた。司会が若い渡邊ワイズだったことが若者達との距離を近づけたに違いない。

### モンゴルレポート（パート3）

宮内 友弥

10月21日のウランバートルクラブチャーターナイトに備え、事前の打ち合わせを兼ねて10月17日に成田発モンゴル航空の直行便でウランバートル(UB)入り(約5時間のフライト)。宿泊はチャーターナイト会場でもあるリゾートホテル、UBから車で40分の郊外にあり、部屋の窓から覗くと牛や馬がのんびりと草を食っており、夜は降り注ぐような満天の星が輝いているこれぞモンゴルと思わせる所。ホテルの広大な敷地内には宿泊者用のゲル(遊牧民の伝統的なテントハウス)があり、滞在中夜は海外から参加の19名がこのゲルに集合しフェロウシップで大いに盛り上がった。(我々も寝袋持参で1泊した。)

チャーターナイト前日の20日には、UB YMCAのユースリーダーとの懇談会が設けられ参加した20余名のリーダーのYMCAに寄せる熱い思いを語ってもらった。彼らはそれぞれユース活動を通じてモンゴルで今社会問題化しているアルコール依存症、マンホールチルドレン、モラルの向上などについて熱く語る姿に感動。以前読んだ本の中で日本のYMCAの黎明期の特徴として記されていた「YMCAに参加した多くの青年たちが、国家を論じ将来の国づくりに参与する指導的立場で活動した。社会改良の礎になろうと頑張った。」の一節が思い浮かんだ。



10月18、20日は、打ち合わせの合間を見つけてUBへ観光と買物に出かけた。モンゴルは日本の約4倍の国土に人口は3百万人弱、その4割の約120万人がUBに集中しており近代的なビルが林立し、砂漠の中に突如出現した巨大オアシスの様相で今も建設ラッシュが続いている。交通渋滞には悩まされたが、新旧入り混じった魅力のある町である。10月19日はチンギスハンの巨大像があるチンギスハンテマパークに立ち寄り、UBから東へ50kmの保養地テレルジを訪問、大自然を満喫した。驚いたのは、テレルジでも問題なく携帯電話が通じることである。

来年9月のウランバートルクラブチャーター1周年には、ツアーを組んで皆さんでUBを訪問しましょう。

#### <西東京YMCA便り>

村山 達哉

あっという間に11月を迎え、秋も次第に深まってまいりました。木々の葉も色づき始め、街を行く人々の装いにも変化が見られます。「木枯らし1号」も観測されました。過ごしやすい季節ではありますが、朝晩の冷え込みに体調を崩されませんかよう、どうぞお気をつけください。

さて、10月22日(水)にはリーダー感謝会が開催され、武蔵野多摩ワイズ、八王子ワイズ、ボランティアリーダー、スタッフ、その他多くのゲストを交えて交流し合い、大いに盛り上がる時間となりました。リーダーたちは、普段ワイズメンズクラブの方々となかなか顔を合わせる機会が少ないのですが、1対1で会話する姿が各所で見られ、私自身とても驚いたのと同時に、このような機会を持てたことに嬉しさを感じました。この夏の経験や、自分自身について振り返り相手に伝えること、お互いについて興味を持ち会話すること、短い時間ではありましたが、リーダーたちにとって実りある時間であったと思います。年末年始に実施予定のウィンタープログラムの準備も本格的に始まってまいりました。この夏のように、毎日ボランティアリーダーが集まり、議論を交わしています。良き準備が出来ますよう、お祈りください。

また、11月2日(日)には、「西東京ファミリーフェスティバル」が高尾の森わくわくビレッジにて開催されます。西東京センターに関わる多くの家族、ボランティアリーダーが集う年に1回のイベントです。どうぞご参加ください。今月もお支え、よろしく願いいたします。

#### <西東京センター及び東京YMCAの主な予定>

- 11/2 西東京ファミリーフェスティバル@高尾の森わくわくビレッジ  
中高生グループ活動「TeenS」10月例会
- 11/3 ペタペタの会 くにたちウォーク  
西東京センター会員の集い
- 11/8-9 知的障がい児・者 余暇活動「あおぞら・つばさの会」11月例会(1泊会)
- 11/9 発達障がい児 グループ活動「Smile(小学生)」11月例会  
国際協力募金(例会後、国立駅にて)
- 11/14 座学リーダートレーニング(スキー指導法)
- 11/16 幼児野外活動「にこにこ」11月例会  
小学生野外活動「ロビンソン」11月例会  
国際協力募金(例会後、国立駅にて)  
知的障がい児・者 余暇活動「シャベルズ・いずみの会」11月例会
- 11/21-24 リフレッシュキャンプ
- 11/23 中高生グループ活動「TeenS」11月例会
- 11/30 発達障がい児 グループ活動「Smile(中高生)」11月例会  
国際協力募金(例会後、国立駅にて)

#### 11月のバースデイ 山本 宏ワイズ

11月例会 日時 11月12日(水) 場所 西東京センター 7時

受付 山本・渡邊ワイズ 司会 石丸ワイズ 聖書・祈祷 小坂メネット

卓話 「人創りキャンプ」ICU高橋 伸先生